| 学校番号 | 3027 |
|---|---|

# 令和８年度　地歴公民科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新地理総合（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳地理資料　COMPLETE 2026（帝国書院） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校で学んできた地理の知識や表現方法等を基礎に、「自然地理」・「世界地理」・「地球的課題」の３つのテーマを中心に学習します。身近な地理的事象を基に、世界での地理的事象、事項に加え、身近に頻発するようになった災害に関わる事項を学びます。
・地理総合の学習を契機に、世界の地理的事象に関心を持ち、自然現象を含めた社会的事象に対して地理的な見方・考え方を身につけ、身近な地理的事象と世界的な地理的事象が結びついていることを意識しながら、学習に取り組んでいきましょう。
・授業では資料の読み取りや、解説を中心に行います。知識の整理は予習をして授業に臨みましょう。

## ２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理に関わる諸現象、事象について、世界各国の生活、文化等の多様性に加え、特に日本で発生しうる災害に対しての防災への取組を理解するとともに、学んだ事項について地図や地理情報システムなどを使用し、調査や諸資料から地理についての諸情報を適切かつ効果的にまとめている。 | 地理に関わる諸事象について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、空間的相互関係などに着目し、多面的・多角的な考察ができている。また社会の諸課題について解決に向けて、地理的な見方を用い、構想、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 地理に関わる諸現象、事象について、国家及び社会の形成者として、よりより社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 地図でとらえる現代世界 | ・地球上の位置と私たちの生活<br>・地図の役割と種類<br>・現代世界の国家と領域<br>・日本の領域および領土 | a:地球儀等を使用して地球を球面で捉えた上で、緯度や経度、時差を理解している。（知識）<br>a:用途によって様々な地図があることを学習し、使える技能を身に付けている。（技能）<br>b:現代世界の国家について地域の結びつきなどに着目して、地域間の課題を多面的、多角的に考察し、適切に表現している。<br>c:現代世界の諸問題について、一つ例をあげ、その問題について主体的に追求、解決しようとしている。 | 考査 | 考査、課題 | パフォーマンス課題、ワークシート |
| | | ・世界の地形と人々の生活<br>・世界の気候と人々の生活<br>・世界の言語・宗教と人々の生活 | a:世界の自然地形や気候は地域的に大きく異なっていることを理解し、その特徴について分布の様相と理由を理解している。（知識）<br>a:世界の自然地形や気候の分布の様相を、地図等を用いて表現している。（技能）<br>b:世界各地域の自然と人間の関 | 考査 | 考査、課題 | パフォーマンス課題、ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | わりや結びつきに着目し、その特色や課題を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c：温暖化について、その現状と課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | | | |
| 2学期 | 国際理解と国際協力 | ・歴史的背景と人々の生活<br>・世界の産業と人々の生活 | a：世界各地の生活・文化は、それぞれの地域の長い歴史に影響を受け、現代世界の事象に現れることを理解している。また、現代世界の事象のうち産業に着目し、その地域的特徴を理解している。（知識）<br>a：世界の産業の地理的特徴について地図等を用いて表現している。（技能）<br>b：世界各地域の産業と人間の関わりや結びつきに着目し、その特色や課題を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c：経済成長と環境問題について、その現状と課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 考査 | 考査、課題 | パフォーマンス課題、ワークシート |
| | | ・地球的課題と国際協力 | a：地球上での諸問題（資源・エネルギー、人口、食料等）について、その地域的特徴と課題について、地域どうしが相互に関連していることを考察、理解している。（知識）<br>a：地球上での諸問題（資源・エネルギー、人口、食料等）の地域的特徴について、地図等を用いて表現している。（技能）<br>b：地球上で諸問題（資源・エネルギー、人口、食料等）について、その特色や課題を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c：地球上での諸問題の中から自ら一つ取り上げ、その現状と課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 考査 | 考査、課題 | パフォーマンス課題、ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 持続可能な地域づくりと私たち | ・自然災害と防災<br>・生活圏の調査と地域の展望 | a:日本全土や生徒の生活圏で起こりうる自然災害について、その原因や規模など、地域的特徴を理解している。また、自然災害に対する対応や備えの重要性を理解している。（知識）<br>a：日本全土や生徒の生活圏で起こりうる自然災害について、地域的特徴を捉え、地図等を用いて適切に表現している。（技能）<br>b：日本全土や生徒の生活圏で起こりうる自然災害について、その特色を多面的・多角的に考察し、ハザードマップ等に適切に表現している。<br>c：自然災害に関する諸問題の中から自ら一つ取り上げ、その現状と課題を主体的に追究、解決しようとしている。また、災害が発生した際にどのような行動をとるべきか等を考察することができる。 | 考査 | 考査、課題 | パフォーマンス課題、ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度